地方独立行政法人広島市立病院機構

記　載　例

平成　○　年　○　月　○　日作成

《注意》
作成年月日は、開札日とすること。

所在地	○○○○○○○○○○○○○
商号又は名称	○○○○○○
代表者職氏名	○○　○○　　印（下記※1参照）
回答できる者の氏名	○○　○○
連絡先電話番号	（○○○）○○○－○○○○（内線）

《注意》
記名・押印がない場合は無効とする。

入札金額内訳書（委託業務）

業　務　名（下記※2参照）　広島市立安佐市民病院臓器等処理業務

区分		単価（下記※3参照）（A）	予定数量（B）	金　額（A）×（B）	摘要
業務価格	胎盤（ア）	円	362 kg	円	1kg当たり
	臓器（胎盤を除く）、組織（イ）	円	286 kg	円	1kg当たり
	四肢等（ウ）	円	4 kg	円	1個当たり2kgまで
	四肢等（エ）	円	4 kg	円	2kg単位増ごと
	合計（オ＝ア＋イ＋ウ＋エ）				入札書記載金額（下記※4、※5参照）
消費税相当額（カ＝オ×8%）		業務価格の合計×8%		○○○○○	消費税率8%
業務費（キ）				○○○○○○	

《注意》
積算内容に記載が全くないものは、その

《注意》
「出精値引　△○○○○円」のような記載はしないこと。

《注意》
入札金額内訳書の「業務価格」の「合計金額」が入札書記載金額と異なるものは、無効とします。（ただし、入札金額内訳書等の業務原価の合計金額の千円未満の端数を切り捨てた額を入札書記載金額としている場合は無効としない。したがって、金額の相違が千円未満であっても端数切捨てでない場合、切捨て以外の端数整理、税込みと税抜きの誤記等は、無効となる。）
また、「業務価格」の「合計金額」に1円未満の端数が端数がある場合は、その

次に掲げる事由に該当する落札候補者のした入札は、無効とする。
※1　入札金額内訳書に記名・押印がないもの
※2　業務名がないもの、もしくは業務名が誤っているもの（ただし、業務名の一部に誤りがあるが、当該業務の入札金額内訳書であることが特定できる場合を除く。）
※3　単価欄に記載が全くないもの。また、希望単価に少数点第3位以下の端数が生じる場合は、これを切り捨てること。ただし、小数点第1位以下または第2位を切り捨てた場合は無効としない。したがって切り捨て以外の端数処理は無効とする。
※4　業務価格の合計金額が入札書記載金額と異なるもの（ただし、入札金額内訳書等の業務価格の合計金額の千円未満の端数を切り捨てた額を入札書記載金額としている場合は無効としない。したがって、金額の相違が千円未満であっても端数切捨てでない場合、切捨て以外の端数整理、税込みと税抜きの誤記等は、無効となる。）
※5「入札書記載金額」欄には、1年間の予定総額に相当する金額を記載すること。ただし、1円未満の端数があるときは、その全部を切り捨てた金額を記載すること
※6　その他、入札金額内訳書作成手引に掲げる事由に該当するもの